

みずほCustomer Desk Report 2022/11/28号 (As of 2022/11/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	139.11
TKY 9:00AM	138.60	1.0408	144.17	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	139.59	1.0430	145.14	1.2104	0.6765
SYD-NY Low	138.38	1.0355	144.13	1.2126	0.6781
NY 5:00 PM	139.17	1.0403	144.66	1.2059	0.6720
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,347.03	152.97	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	11,226.36	▲ 58.96	日本10年債	0.2500%	0.0100%
S&P	4,026.12	▲ 1.14	米国2年債	4.4660%	▲0.0051%
日経平均	28,283.03	▲ 100.06	米国5年債	3.8690%	▲0.0069%
TOPIX	2,018.00	▲ 0.80	米国10年債	3.6896%	0.0015%
シカゴ日経先物	28,340.00	▲ 15.00	独10年債	1.9665%	0.1220%
ロンドンFT	7,486.67	20.07	英10年債	3.1150%	0.0820%
DAX	14,541.38	1.82	豪10年債	3.5900%	0.0310%
ハンセン指数	17,573.58	▲ 87.32	USDJPY 1M Vol	13.66%	▲0.25%
上海総合	3,101.69	12.38	USDJPY 3M Vol	12.55%	▲0.07%
NY金	1,754.00	8.40	USDJPY 6M Vol	11.80%	▲0.01%
WTI	76.28	▲ 1.66	USDJPY 1M 25RR	▲1.02%	Yen Call Over
CRB指数	273.25	▲ 3.62	EURJPY 3M Vol	11.62%	▲0.05%
ドルインデックス	105.96	0.14	EURJPY 6M Vol	11.53%	0.03%

【昨日の指標等】

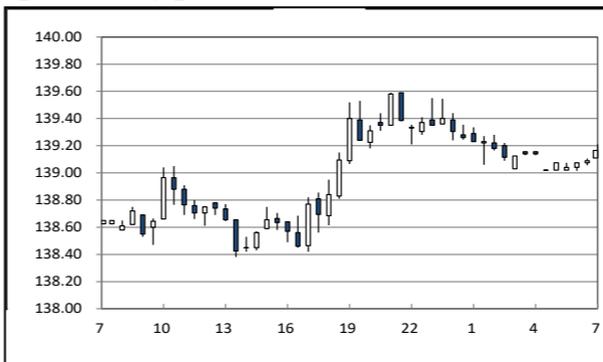
Date	Time	Event	結果	予想
11月25日	08:30	日 東京CPI	11月 3.8%	3.6%
	08:30	日 東京コアCPI	11月 3.6%	3.5%
	08:30	日 東京コアコアCPI	11月 2.5%	2.3%
	16:00	独 GDP(前期比)・確報	3Q F 0.4%	0.3%

【本日の予定】

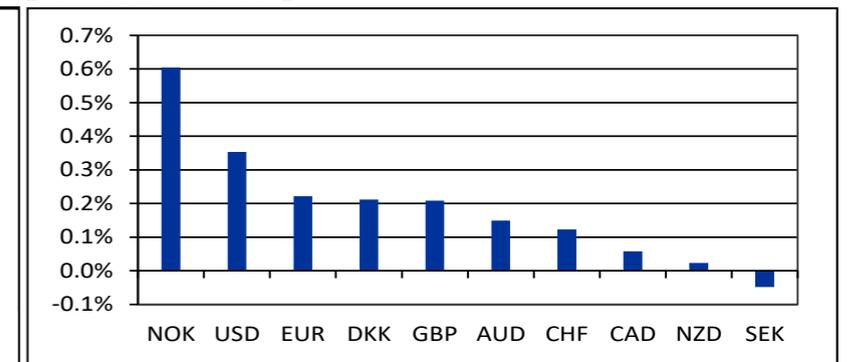
Date	Time	Event	予想	前回
11月28日	23:00	欧 ラガルドECB総裁 講演	-	-
11月29日	02:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は138.60レベルでオープン。仲値にかけてドル買いが入ったことにより一時139円台まで浮上し139.05までつけるも、米国の利上げペース鈍化期待がある中では長くは続かず反落。午後には138.38をつける時間帯もあったが方向感のない推移となり、138.64レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は138.64レベルでオープンし、全般的なドル買いを受けて上昇。特段材料は観測されなかった。139.31レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	中国が預金準備率を来月5日から0.25%引き下げると発表したが、コロナ感染者数増を受けドル買いが優勢となる中、米金利上昇を受けたドル買いも加わり、ドル円は139.59まで戻し、139.31レベルでNYオープン。サックスギビングと週末の谷間で市場参加者が大幅に減少する中、朝方は139.55まで戻すが、上昇していた米金利が反落する展開に139.02まで下落する。午後は、株式、債券市場が早引けする中、139.05付近での閑散な推移が続き、139.17レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いが優勢となったことから上値を切り下げ、1.0380レベルでNYオープン。朝方はドル買いが継続したことから1.0355まで下落するが、その後は米金利が低下に転じる中ユーロドルも1.0410まで戻す。午後は、1.0415まで戻すが、週末を控え閑散な取引となり、1.0403レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.20-140.20	1.0300-1.0450	143.50-145.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は上昇する展開。東京時間は138円台半ばを中心にもみ合う展開も、海外時間に入ると米金利上昇とともにドル買い優勢となり、一時139.59まで上昇。その後は感謝祭祝日明けで米国の債券や株式市場が短縮取引のなか、積極的な取引は限定的となり、139.17までクローズ。  
 本日のドル円は上値重い展開を予想。インフレピークアウト観測、FEDの利上げペースが鈍化するとの見方から、ドル円は上値重く推移しそうだ。日足の一目均衡表の雲を先週明確に下抜けたことで、チャート上も下落リスクが高まっているとみる。本日はウィリアムズ・NY連銀総裁講演、ブラード・セントルイス連銀総裁講演が予定されている。先週発表された11月FOMC議事要旨では、大多数の参加者が近く利上げ幅の圧縮を見込んでいることが明らかになっており、発言内容に注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・西